



シルバーだより

No. 259

平成 24 年 1 月 1 日

荒川シルバー大学

荒川区荒川 3-49-1

秋山照子

TEL 3801-5740

FAX 3801-5691

☆ 新年おめでとうございます！！ ☆

副学長 望月公子

新年おめでとうございます。シルバー大学の皆様におかれましては、良き元旦を迎えられたことと存じます。この一年間、大学内で講義や講演、その他様々な活動が順調に進んできましたのは、荒川区の理解協力と学生皆様の応援があったのでした。

900 名以上の組織で、1 年間に怪我や事故がなかったということは、自慢でもなんでもなく稀有のことです。これは、学生一人ひとりが、講義に出席する際に、『自分の目的や責任をしっかりと認識していたから・・・』だと思います。周りの人に出るだけ迷惑をかけないで、楽しく末永く学び合おうと考えているからではないでしょうか？今年も昨年同様に全員が健康でありますように、お互いがんばりましょう。



十二支の中で唯一『辰』だけが想像上の生き物であって、他の十一は全て人間の生活に関わりのある生き物です。実は、本来の辰は辰の下に虫を書いたもので『しん』と読み、二枚貝のヒラヒラしたものを言うそうです。昔の人が大量に食べた二枚貝は貝塚として残っていますが、蛤のペラペラしたところは、簡単に手に入る美味しい蛋白源として重要だったことでしょう。

十二支とは、生きるための教訓や感動を含んだ生活の知恵だったように思います。龍が、宝珠をがっしり掴んで天を目掛けていくから好きです。宝珠は夢であり、希望の珠です。絶対落とすことがないという掴み方で上昇するエネルギーは、一年一年を悔いなく踏みしめて学習しているシルバー大学の学生の心を象徴しているようです。龍に負けない心意気で、健康で楽しく知的好奇心を満足させ更に高齢化社会に貢献する一年間を送ってください。

最後になりましたが、東北大震災の義援金募集におきましては、学生の優しい気持ちと、粘り強く困難に立ち向かう荒川区民の気概を感じました。荒川区の魅力は人なんだ！！という思いで一杯です。ありがとうございました！！

ところで、荒川区内に避難している東日本の方は 106 名いらっしゃるようですが、中には、シルバー大学に関心を持っている人もいるとのこと。お知

り合いに避難されている方がいらっしゃいましたら、気軽に見学に来るよう誘ってください。事務室では何時でも待っています。学費や講座内容等どんなことでも相談に応じますから・・・！！ お願い致します。 以上

今年も良い年になりますよう、役員一同頑張りますので宜しくお願いします。

(理事長)		秋山 照子		(名誉学長)		原田 治子	
(学 長)		稲川 君江		(副 学 長)		望月 公子	
常任理事	①	副 理 事 長	後藤八重子 岡田芳子(講) 理事長代行	佐藤 恒子	兼杉つぎ子 石崎恵子 (講)	管原 房子	遠藤 久子
	②	事 務 局 長 副事務局長 会 計 会 計 会 計	瀧澤百合子 宮澤 健一 江川 芳江 伊藤 慶子 田原 弘子	東日暮里地区長 西日暮里地区長 南千住 地区長 荒 川 地区長 町 屋 地区長	山岸 知子 畠山 英子 伊東千代子 藤原 晃 滝口 和彦	東尾久地区長 西尾久地区長 書 記	山本 菊枝 青山三津子 立川 禮子(講)
	【会計監査】		山崎 勝義	尾島ゆう子			
理 事	③	理 事	伊勢 一子 橋本 照子	金久保芳夫	佐藤 昭	嶋戸由美子	鈴木 菊枝 あいうえお順
	④	地区・班長	1. 内山 茂	11. 印田 和子	21. 武田 咲	31. 木村 幸子	41. 小北 好子
			2. 山岸 知子②	12. 鶴岡 恵子	22. 木塚 順夫	32. 滝口 和彦②	42. 小島富美子
			3. 矢田 明	13. 中島 英子	23. 入山 勝子	33. 濱 妙子	43. 青山三津子②
	地区・副班長	10. 西澤 節子	27. 佐藤エツ子	28. 山田 紀子	29. 清水 仁美	32. 森 秀太郎	
理 事	⑤	教室代表	水 墨 画	46. 長島 友樹	頭の体操		42. 瀧澤百合子②
			パソコン・初級	24. 高山 順子	社会科見学		29. 高橋 武三
役員職務分担							
事 務 局	室 長		田原 弘子	局 長		瀧澤百合子	副局長
	局 員		(ホームページ) (管 理) (接 待)	嶋戸由美子 金久保芳夫 阿部 成子		(設 営) 佐藤 昭 熊川 京子	宮澤 健一 鈴木 菊枝 塚野 明子
		部 長	副 部 長	地 区 長			
総 務 部	管原 房子		遠藤 久子	望月公子(講)	東日暮里 地区		山岸 知子
企 画 部	宮澤健一 石崎恵子(講)		佐藤 昭 立川禮子 (講)		西日暮里 地区		畠山 英子
厚 生 部	兼杉つぎ子		畠山 英子		南 千 住 地区		伊東千代子
施 設 部	瀧澤 百合子		佐藤 昭	金久保芳夫	荒 川 地区		藤原 晃
広 報 部	佐藤 恒子		宮澤健一	岡田芳子(講)	町 屋 地区		滝口 和彦
			石崎恵子(講)		東 尾 久 地区		山本 菊枝
					西 尾 久 地区		青山三津子

平成 23 年度学園祭を振り返って

「頭の体操教室」

講師 水越絹代

今年度も「あいうえお作文」を作っていただきました。実体験に則したもの、時局を感じさせるもの、ユーモアあふれるもの等、内容の濃い作品を楽しんでいただけたと思います。また、お若い方が興味を持って、「頭の体操教室使用テキスト」を一生懸命に解いて下さっていた姿も印象的でした。体験コーナーでのやりとりもほほえましく、学園祭の風物詩になってきたな、と嬉しく感じられます。来年度も「体験コーナー」でお待ちしています。



平成 24 年度新設教室紹介

「写 真 教 室」

講師 戸叶恒夫

カメラの性能は向上し、だれでもきれいに写真を撮ることが可能になりました。入学にあたっては、今までの撮影経験は問いませんが、自分のカメラの扱いは自分で出来る方に限ります。この講座は撮影技術を教え込むものではありません。仲間と街中に出て撮影したり、その作品を見て話し合う作業が中心となります。

一人ではめんどくさくても、仲間がいれば楽しいものです。自分が良いと思ったもの、心に感じたものをどんどん撮ってください。何を撮るかを自分で見つけ、シャッターを押せばよいのです。「撮るぞ」の意気込みは大切ですが、気持ちだけで撮れるものではありません。むしろ、肩の力をぬいた時に傑作が生まれることが少なくありません。大切なことは、常にカメラを持ち歩き、美しいもの、気になるものを見つけてシャッターを切ることです。

「伊豆修善寺」の研修旅行に参加して

料理教室講師 立川禮子

今年は、研修旅行はシルバー大学の予定に入ってなかったが、学園祭が終って、「毎年の研修旅行を楽しみにしている人」や「一人の旅行よりシルバー大学の仲間達と旅行をしたい」という人達の切なる願いに応じて急遽、旅行地と日程が決められた。参加者を集めるにも旅行担当をした人も苦労したが、修善寺へ二泊三日で行った。

一日目、わさび園、洋蘭パーク、もみじ林を見て早目に宿桂川に到着。宴会までに磨きをかける時間がたっぷり。ごちそうたっぷりの宴会は添乗員の司会で盛会。

二日目、今回初めての試みでバスでの見学はなし。修善寺の町を竹林の小路、函湯等自由散策（昼食は皆一緒に）早目に宿で温泉のハシゴ、二日目の過ごし

方は好評。

三日目、みかん狩りをして（たいそう美味しいみかんだった）小田原（出てバイキング昼食）かまぼこ、ウイロー屋へ寄って、五時半には区役所前に到着、休養を兼ねて絆も深められた想定外のよい旅行だったとの感想。

◆◆◆ 12月の学園日誌 ◆◆◆

6日	常任理事会	19日	24年度ひろば館使用申請書提出
6日	役員会 24年度の件	19日	24年度センター特例措置依頼書提出
15日	真土教室使用願提出	19日	24年度募集区報掲載申請提出
15日	24年度教室使用申請書提出	23日	24年度募集要項・申込書他作成
	センターへ	26日	シルバーだより 259号作成

※ 事務局だより ※

1. 平成24年度受講生募集について

期日：2月13日（月）～24日（金） 会場：生涯学習センター内
「継続申込書」用紙・募集要項の配付＝1月6日（金）より地区班長が配付
「入学申込書」用紙・募集要項＝1月10日（火）よりセンター内当校ポスト前で配付
平成24年度の開講教室は下記のようになっております。

- （月）◎水彩画・水墨画・パソコン初級/ 硬筆・フラダンス
（火）◎書道・陶芸・パソコン中級・上級・**歌声クラブ** / 自分史・日本の話芸
（水）料理・社会科見学 / 自然と小さな旅・絵本と伝承遊び・頭の体操・**写真**
（木）華道・俳句・輪踊り民舞・◎朗読 / 健康体操・絵手紙A,B
（金）英語・◎気功・書道（初級） / 茶道・今と昔の町歩き・絵画と創作
（土）音楽 /

※（火）歌声クラブ教室と（水）写真教室は平成24年度新設教室となります。

2. 1月の変更教室について

朗読教室：12日（木）と26日（木）です。

3. 講師会について

20日（金）午後1時より第一会議室にて

（2月29日開催の学芸会に出演教室の講師の方のみご出席願います）



（事務所）TEL3801-5740 FAX3801-5691

（ホームページ）<http://www.arakawa-silver.com/>

室長：田原



シルバーだより

No. 260

平成 24 年 2 月 1 日

荒川シルバー大学

荒川区荒川 3-49-1

秋山照子

TEL 3801-5740

FAX 3801-5691

「春 の 足 音」

理事長代行 岡田芳子

“ 梅一輪一輪ほどの暖かさ ” (服部嵐雪)

2 月の声を聞きますと節分そして立春、もう春がそこ迄来ていると思います。でもこれは暦の上でのこと、実際には 1 年のうちで一番寒い時期です。

けれども春の足音は一日一日と聞こえてきます。私は 2 月になると毎年、「梅一輪一輪ほどの暖かさ」の句が浮かんできます。

梅は葉が出るより先に花が咲きます。(そんな花は他にもあります。)梅と同じ時期に咲く植物はたくさんありますが、他の植物より気温の変化をより敏感に受け止めて春が近づいていることがわかるのではないのでしょうか。私たちが感じないほのかな暖かさを感じるのだらうと思います。

散歩の途中、梅の花がほころび始めている姿に会いました。明日はと思ったら、まさに一輪咲いていました。そして次の日また一輪、ほのかな香りが心の中に自然に入ってきました。



心の暖かさと申せば昨秋、学生・講師の皆様方のご協力によりまして東日本大震災の義援金をお願いしましたところ、661,870 円（前回お知らせしました額よりその後もいただき増えています。）集まりました。

荒川区にお住まいを移していらっしゃる方々にと、話がまとまりました。1 月 28 日、荒川区社会福祉協議会主催でお集まりする会があると聞きました。そこで日常生活に生かしていただくよう区内お買物券にしてお渡し致しました。

このことにつきましては、社会福祉協議会の事務局長 藤田満幸様を始め、職員の皆様のご協力をいただきました。また、シルバー大学での受講をお勧めしました。これからも私たちにできることが一つでも増えたらと思います。

24 年度受講生募集が始ります。自然界の暖かさと人の温かさが一つになり、校歌にあるように大輪の花を咲かせましょう。

園児を迎えてふれあい授業・・・絵本と伝承遊び教室

12月7日は、三河島保育園の年長さん 25 人の子どもを迎えての授業でした。教室の真ん中に敷いたカーペットにお行儀よく並んだ子どもたちの、キラキラ輝いた瞳が印象的です。最初は石崎先生による、手袋人形のパンダを登場させてのごあいさつ。じっと見ている子どもたちは、一言一言に笑いをもって反応していました。そして絵本の読みがたり。まだサンタクロースの存在を信じている子どもの夢を壊さないよう、サンタの絵本を2冊読みました。



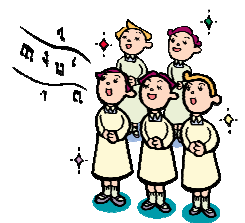
次に紙芝居です。《まついのりこ作》の仕掛け芝居で、子どもたちが声をそろえて「おおきくおおきくおおきくなあれ」と叫ぶと、図面の絵も大きなものになります。大きくなったクリスマスケーキのイチゴを、演じ手の小北さんがつまんで差し出すと、子どもたちはいっせいに手を伸ばして受け取り、食べるまねをして大満足。手品をご披露しました。糸に通した「輪」が、あら不思議! 小北さんの手にかかるとスーッとはずれてしまいます。きょとんとしていた子どもの表情がなんとも愛らしい。最後に、「せっせっせ・・・」でジャンケンふれあい遊び。勝った子には、私たちの手作りサンタ（折り紙）のしおりがお土産です。勝つまで次々と交代でやるので、いろんな子とふれあえて楽しかったです。子ども達からは「いつでも友達」という素敵な合唱のプレゼント。帰りには私たち一人一人に握手をしてくれて退場です。子ども達のやわらかい小さな手の感触がいつまでも残っていました。子どもとの嬉しいふれあいのひとときでした。

絵本と伝承遊び教室 山泉昭子

☆24 年度募集教室情報☆

1、歌声クラブ教室

募集初日混雑を解消のために先着順でなく、抽選で行います。荒川シルバー大学事務所の掲示板のところに専用の申込書がありますのでそれを使用して下さい。申込書には、住所・名前・電話番号・班名を記入して備え付けの箱に投函して下さい。



募集期間 2月1日～10日 午後1：30まで

抽選の結果は、13日 9：30に3階大会議室廊下及び事務所前に名前を掲示しますので、正式に申込みをして受講料をお支払い下さい。

募集人員 50名

教室内容はシルバーだより12月号参照

その他、不明な点は右記へ連絡ください。 高橋建司 080-5066-0085

2、パソコン教室

初級クラス・中級クラスともに2年まで受講可。

上級クラスは、多年度受講可とします。



募集人数 各クラス定員 **30名** 初級クラス・中級クラス

1年目生 15名 2年目生 15名

1年目生・2年目生がそれぞれ15名に達しない場合は2年目生・1年目生で補充し、総勢で30名になるようにする。

(応募者が30名を超える場合は、抽選とする。)

2月の行事

平成23年度 学芸会 プログラム

2月29日(水) 午前10:00～午後4:00 於サンパール荒川 3階(小ホール)

NO	発表時間	出演教室名	内 容
	10:00～10:10	開 会 式	挨拶 : 理事長 秋山照子 挨拶 : 学 長 稲川君江
1	10:10～10:50	英 語	・歌「グリーン グリーン グラス オフ ホーム」「カントリー・ロード」他 ・朗読「ふたりは友達・お手紙」 アーノルド・ローベル 作 ・会話「谷中・根津・千駄木」「銀座」「京都」「英国旅行」
2	10:55～11:20	健康体操	1.荒川シルバーヤットコ体操 2.アメージンググレース 3.荒川シルバー間接体操 4.見上げてごらん
3	11:25～11:55	日本の和芸	講談「吉良邸討入り」 落語「人目上がり」他
4	12:00～12:25	和踊り民舞	1.ドンパン節 2.花火音頭 3.博多キンシャイ節 4.あなたの出番 5.炭鉱節
	12:25～1:30	昼 休 み	学園祭のビデオ上映
5	1:30～1:55	フラダンス	1.パパリナラヒラヒ 2.カウラナモロカイ 3.プアカ - ネ - ション 4.ヘアロハノワイナエ 5. 月の夜は
6	2:00～2:40	朗 読	・心に残る「140字の物語」 ・100万回生きたねこ ・すつとびとびすけ
7	2:45～3:15	気 功	・1,000 千万人のリラックス気功「香功」 ・病気の予防とリハビリ医療気功「内養功」
8	3:20～3:45	音 楽	1.忙しい空 2.誰かほんとを 3.エーデルワイス 4.すべての山に登れ 4.スタンドアローン
9	3:50～4:00	閉 会 式	講評 : 名誉学長 原田治子 挨拶 : 副 学 長 望月公子 校歌 : 指 揮 石崎恵子

※訂正とお詫び

1. 「役員一同の掲載洩れのお詫び」シルバーだより 1月号 P.2 役員一同新年のごあいさつ欄において「**フラダンス教室 代表 小磯教子**」のお名前が洩れておりました。お詫びして掲載申し上げます。

◆◆◆◆◆ 学 園 日 誌 (1月) ◆◆◆◆◆

6日	役員会(24年度計画案・地域支援活動案他)	17日	税務署へ支払調書提出(会計)
6日	24年度募集要項配付	17日	旧真土小使用申請提出
6日	24年度募集申込書配付	20日	学芸会打合せ(サンパール)
13日	募集ポスター区掲示板へ掲示依頼	20日	臨時常任理事会(規約改正)
		25日	理事長代行・学長打合せ
		26日	シルバーだより 260号作成

※ 事務局だより ※



1. 平成 24 年度募集受付について

- ・期日：2月13日(月) 午前10時～12時、午後1時～3時

2月14日～24日 午後1時～3時 土日除く

- ・整理券について・・・下記の教室については整理券を発行いたします。

① 自然と小さな旅 ② 今と昔の町歩き ③ 社会科見学

④ 水彩画 ⑤ パソコン初級、中級、上級

- ・追加申込について・・・申込用紙に「追加」と書き、初回の領収書を持参すること(運営費の重複支払を防ぐ為)

※募集要項をよくお読みになり、申込書にご自分で必要事項をご記入の上、受講料を添えてお申し込みください。

※受付当番の方へ：当日は印鑑《領収書に押印》をご持参ください。

2. 2月の講義変更教室について

朗読教室：9日と16日と23日です。

3. 水彩画教室の発表会について

会期：3月7日(水)～13日(火) 午前10時より午後6時(初日12時～

最終日は午後3時閉会) 会場：町屋文化センターふれあい広場

(事務所) TEL3801-5740 FAX3801-5691

(ホームページアドレス) <http://www.arakawa-silver.com/> 室長：田原



シルバーだより

No. 261

平成 24 年 3 月 1 日

荒川シルバー大学

荒川区荒川 3-49-1

岡田芳子

TEL 3801-5740

FAX 3801-5691

訃報：この度「荒川シルバー大学理事長 秋山照子氏」は 2 月 23 日
肺炎のためご逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

.....

「交流会に参加して」

・・・東日本大震災義援金に関して・・・

学 長 稲川君江

「3・11」東日本大震災から一年が経ちました。23 年度シルバー大学は新学期を迎えた時、私達に出来る事は何かを考えました。一年間を通して、各教室で自分達に出来る事に取り組んできました。様々な教室での活動を通して、最終的に 10・11 月の 2 ヶ月で学生全員による募金を実施しました。※「塵も積れば山となる」の通り、66 万円余りの募金額となりました。

この頃、荒川区には約 120 人の被災した方が避難生活をしている事を知りました。私達の貴重な募金は荒川区に非難している人達に使っていただく事になりました。集まった募金は荒川区社会福祉協議会の藤田局長様や担当の方々がすべてお世話をして下さいました。



被災している方は約 45 世帯、4 分の 3 の世帯が義援金を希望されました。1 月 28 日は第 3 回目の交流会が開催されました。シルバー大学は義援金贈呈のために参加しました。この交流会は社会福祉協議会主催で各月に実施され、生活消耗品の配付、情報交換、親睦を図っているそうです。未知の土地に避難してきた人達にとってどんなにか心強い事でしょう。

私達の義援金は、協議会の計らいで「区内共通お買い物券」に替えていただき希望の世帯に贈らせていただきました。今回の交流会は、時期的にも新年会という形で荒川地区ボランティアの方や協議会の方々の心のこもった手作りのご馳走が並びました。又区内の西六噺子連の獅子舞に正月気分が盛り上がり、特に被災者の小さな子供達の目が輝き楽しそうでした。

高齢者のご夫婦の多い中で乳幼児をかかえている 20 代の若い世帯の多いのが目立ちました。震災直後や数ヶ月後に出産し、家がありながら放射能から子どもを守るために避難してきた親としての熱い思いが伝わってきました。住み

慣れた故郷や親しい人達との別れをしいられ、不馴れな都会での生活はさぞかし大変な事でしょう。こんな生活がいつ迄続くのでしょうか。すべてを失った故郷が新しい街として復興するのはいつになるのでしょうか。しかし、大きな悩みや不自由をかかえている被災した方々は、予想以上に前向きで力強い表情をしていました。「苦しさに負けない日本人」と世界から称賛された日本人、その力強い人達を私は目の前に見た思いがしました。「私たちは荒川区にきてよかった。暖かい町です。みんなやさしい人達です。」と口々におっしゃっていました。私達はこれからも、身近にいるこの方達に応援の手をさしのべたいと強く強く思いました。

最後に荒川区社会福祉協議会事務局長の藤田様をはじめ、職員の方々の熱意と暖かい対応に心より感謝を申し上げます。

※ 「塵も積もれば山となる」:《「大智度論」九四から》ごくわずかのものでも、数多く積もり重なれば高大なものとなることのたとえ。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

「皆様の浄財は荒川区に避難されている家族の許に！」

荒川シルバー大学東日本大震災募金係 副学長 望月公子

66 万円に昇った各教室からの募金は、1 月 28 日の荒川区社会福祉協議会を通じ、荒川区に現在も非難を続けていられる全家庭に荒川区発行の買い物券としてお渡ししました。ここに、当日の様子を報告いたします。

会場は、“ジョイフルみのわ”の前の荒川区社会福祉協議会。参加者は、避難者 50 名余 30 世帯で、杖をつかれた高齢者、荒川区に避難してから生まれた乳児 3 名、車椅子の方、若い方やあどけない幼児と小学生など一つの地域丸ごとのような構成でした。

学長・理事長代行が支援団体として紹介されると、「ありがとうございます」「助かります」などわざわざ声をかけて来られた方もいました。シルバー大学の学生全員への言葉と思い、心してお受けしてきました。

会の後半は、新年交流会となり、西六獅子連の獅子舞とお囃子・ボランティアによる手作り料理が出され、和やかな雰囲気の中に交流会が終わりました。学長は、「避難されている方達の表情が想像していたより明るくてうれしかったです。」理事長代行は、ご自分の孫と同じような赤ちゃんの手を握り、しきりにあやしていました。「荒川区に避難してきたよかったです。区民の方たちの暖かさにほっとしています。」など、この一年間、避難生活を陰で支援してきた区民への感謝をいただいたのが印象的でした。

また、この支援団体を紹介してくださったシルバー大学「自分史教室」の学生からの情報提供があったことを併せてお知らせします

(2 月理事会・役員会報告概要)

俳句教室作品より

木の肌のぬくみかすかに寒明ける
寒明けに隣の嬰のよく眠る
淡雪の身のほとりに消え水に消ゆ
誘わねば誘ひもあらず寒明ける
寒明けの鳥籠見てる猫ありし
白梅の闇ことごとく香りおり
紙塵の技見事なり寒明ける
梅白し帯の袱紗の揺らぎいる

大久保須美子
和地みちよ
福田すゞ
田上昭子
白井佳子
柴田健次
印田和子
竹野美恵子



寒明けるなお続きおり氷点下
寒明ける声高の朝はじまりぬ
梅白し手塩にかけしそれだけに
冬桜仰ぐ吐息の触れいたる
母に糸通せしことの針供養
授かりし年齢のいとしく寒の明
水温む子の声はずむ向う岸
寒の月無我の境地に入りいる
寒明けにわたし大好きミルクティ

坂岡容子
千葉瑞圓
阿曾八重子
滝口和彦
茂呂ユリ子
田淵員子
木下英子
小澤美佐枝
羽生悦子

ふるさと歌碑・・・

晩秋のふる里に帰った。田園ばかりの庄内平野。南に月山、北には標高 2230 mの鳥海山が、万年雪をのせて聳え立っている。間に連なる朝日連峰裾野には少し紅葉が残っているのか、うっすらと色がついていた。

橋の上から眺める風景は、変わっていない。此処に立つと、ふる里に帰ってきたんだとほっとする。庭に入っていくと、実のなる木はすっかり葉を落とし、屋敷を囲むように植えてある杉の木も下の枝は落とされて、木と木に渡した竹竿に葉の方を藁でしばった大根が列をなして干してあった。

農道を少し歩くと川がある。祖母が子供の頃は、米を舟に積んで、この川をのぼっていったそう。舟の先に縄をむすんで、子供たちを引っ張ったものだと、秋の夜長炬燵の中で話してくれた。その川の水辺に私の好きな秋の草、金平糖のような花をつける《水そば》がいっぱい咲いていた。風がないので籾殻を燃している家もあった。いい匂いがする。灰は肥料になると聞いた。米作りの終わった農家には静かな空気が流れていた。晩秋の太陽は足早に西の空へと傾いて、山の端にかかるのを赤い夕日は、遥か遠くまで伸びて、田園に並ぶ刈り取った稲株の根元をあたためていた。

広報部部長 佐藤恒子

3 月 の 行 事

平成 23 年度 閉講・卒業式

日時：平成 24 年 3 月 16 日（金） 午後 2 時 00 分

会場：サンパール荒川 小ホール

一部

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 開式のことば | 7. 奨励賞授与 |
| 2. 敬 礼 | 8. 奨励賞受賞者謝辞 |
| 3. 理事長挨拶 | 9. 校歌斉唱 |
| 4. 卒業証書授与 | 10. 閉式のことば |
| 5. 学長式辞 | 11. 敬 礼 |
| 6. 卒業生答辞 | |



二部 記念撮影

奨励賞受賞者・卒業生

◆◆◆◆◆ 学 園 日 誌 2 月 ◆◆◆◆◆

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 7 日 常任理事会・役員会 | 17 日 旧真土小使用申請提出 |
| 8 日 学芸会打合せ（最終 23 日） | 20 日 広報部委員会 |
| サンパール荒川舞台ご担当者と | 27 日 シルバーだより 261 号作成 |
| 13 日 23 年度募集受付（24 日迄） | 29 日 学芸会（サンパール荒川） |

※ 事務局だより ※

1. **平成 24 年度の募集申込み受付**は終了致しました。区の社会教育課、福祉高齢者課および広報課、生涯学習センター他、皆さんより多大なるご協力をいただき心より感謝申しあげます。また役員の方々には毎日お手伝い頂きありがとうございました。
2. **水彩画教室の発表会**を下記のように開催致します。皆様お誘い合わせの上ご鑑賞下さい。会期：3 月 7 日(水)～13 日(火) 午前 10 時より午後 6 時（初日は午後 1 時開会、最終日は午後 3 時閉会） 会場：町屋文化センターふれあい広場
3. **講師会について** 日時：3 月 30 日（金）午後 1 時より 会場：第一会議室
事務所 TEL3801-5740 FAX3801-5691
ホームページ <http://www.arakawa-silver.com/> 室長：田原

共に学び生きることの幸せ

～自助・共助・公助～

理事長 岡田芳子

新緑の季節になりました。様々な花が咲きほこり、日本の四季の美しさを感じます。今年も 4 月 16 日に開講・入学式が行われました。新入生 121 名、総学生 898 名そして協力会員が 32 名です。豊かな時間を過ごされますことを願っています。

シルバー大学の学生の皆様は、自分の足で今日を生きてに喜びを見つけ、自分のことは自分で責任をもって前向きは、自助の精神です。

そして、一人では心が開かず不安があります。隣の人かに自分はできない、その逆もあります。そんな時“一緒に行きましょ”などの声かけは、シルバー大学い、シルバー大学の人に会いたいと、人がつながることに合いが生まれ喜びとなります。これが共助です。

それでも高齢者である私達は、多くの公共のお世話になす。医療のこと、地域社会の集まり、学習施設、社会福祉等々、それが公助です。

荒川区は、幸福実感都市として、区長 西川太郎様をはじめ、区議会議員の皆様、そして多くの関係機関のご尽力により生活ができています。これからもシルバー大学での学びの楽しさをまわりの人々に伝え、共に生きることの幸せの輪を広げていきましょう。

人は宝です。自然も宝です。そして学ぶことができるシルバー大学も宝です。人が生きるということは、学べることが大きな要素であると思います。もうこの歳だからと思う人はだれもいません。なぜって、学びを求めて学校に来ているからです。この学びこそが何歳になっても「エー、そうだったの！」と驚き知る楽しみがあり、ゆかいな時間となります。

「無縁社会」が課題の今、語り合える友だちがいる私たち、なによりの幸せだと思うのです。元気で共に学び合いましょう。

いること
に行う姿

できるの
しましょ
に行きた
より助け

っていま



平成 24 年度 開講・入学式

平成 24 年 4 月 16 日(月)、平成 24 年度開校・入学式が、曇りとは云えども温暖な気候の日に恵まれ、サンパール荒川大ホールに於いて執り行われました。第一部の式典には、区の教育長・区議会議員・警察署長他、多くの来賓の方々に御出席を戴きました。理事長・学長、挨拶のあと来賓の方の祝辞に、出席された新入

学の生徒さん及び大勢の在校生は静かに拝聴しました。

そして新入生を代表して、学長の前で、松坂 麗子さん（東尾久・38班）による“誓いの言葉”が述べられ、校歌を全員で斉唱して第一部は終了しました。第二部では、新しく出来た二教室の講師を始め、全教室の講師の紹介を学長が、そして新役員を含む各担当の役員並びに各地区長が理事長により紹介があり、亦その後地区長による班長紹介で、滞る事なく式は全て終了しました。

此の式典を施行するにあたって、いろいろな役をお願いした、多くの班長さん・教室の代表の方にはご苦勞をお掛けしたことを、心よりお礼申し上げます。 ありがとうございます。
実行委員長 宮澤 健一

講師による教室紹介・・・そのⅠ（投稿順）

硬筆教室（松原淑子先生）

基礎基本を大事にしながら、美しい文字、のびやかな文字を心を込めて、丁寧に書いていきます。日常生活の中で静かに集中して物事に取り組む機会は、そうたくさんありません。忙しい暮らしのひと時を、無心になって文字を仲立ちにして自己との挑戦は、何と清しいことではないでしょうか。言葉を書くことを通して、古典や詩歌や名作に触れ、日本人の繊細な感情や表現の美しさに気付いていく楽しさも一緒に味わっていきましょう。

書道教室（松原淑子先生）

従来より、千字文や小倉百人一首を勉強してきましたが、昨年度より心に残る言葉を個性豊かに表現することを加えて、挑戦を広げてきました。楷書・行書・草書の持つ特長を押さえながら、世界の人々の箴言等の深さを味わいつつ白い紙に墨黒々と打ちおろす瞬間の心のどよめき、一点一画も疎かにしない全力を尽くしたあとの疲労感、次への意欲となって蘇ります。今、生きている証しが書道から実感できる幸せを一緒にしていきましょう。

絵手紙A教室（岡田芳子先生）

個性に輝く心あたたまる一枚の絵。「へたでいいよ、へたが楽しいよ。」と気負わずあるがままに表現し、心の思いをひとこと添えて描きます。絵はちょっとネー、という方、絵手紙教室へいらしてください。自分の中に、ねむっている表現する力にびっくり、楽しいですよ。

絵手紙B教室（岡田直美先生）

本年度は十周年に当たります。絵手紙作品展を町屋文化センターで11月22日～28日を予定しています。展示内容としては年間計画に基づきカレンダー作り（巳年）扇面、円窓、絵手紙箋で四季折々を自由に描いてこれを展示の予定です。A組で経験をつんだ方々がさらに向上をめざして、和気あいあいと学びます。

料理教室（立川禮子先生）

料理教室は24年度から尾久ふれあい館の新しい調理室を最新式の設備・備品でそれを使いこなして料理を作るのが課題



使います。
になります。

I・Hに合う鍋を使って36人の料理を作るのには一工夫が必要です。献立の内容や慣れないI・Hレンジで料理づくりを苦にしないように、私も最大限の努力をする決心です。月2回の教室ですから節電のノルマに追われないでおいしい料理を作って脳と胃を元気にしましょう。

社会科見学教室（高橋建司先生）

事故もなく、雨天になった事もなく、順調に3年目を迎える事ができました。継続者55名と新受講生5名の60名で新年度をスタートします。1期生は今年度3年の有期間が終わり修了しますが、修学旅行が楽しみです。マナーを守り、混雑している時も整然と歩く皆さんが頼もしく思います。今年も笑顔が出たり、感動するところを準備していますので、楽しみにしててください。

日本の話芸教室（塚田義介先生）

文豪・夏目漱石は、小説『三四郎』の中で「名人小さんと同時代に生きている私達は幸せである」と主人公に言わせています。昭和の30年代から40年代にかけても、多くの名人達が活躍しました。しかし、残念ながら、当時、働きバチの私達は、中々、寄席に行く暇もありませんでした。今、『日本の話芸教室』では、昭和の名人達の芸を鑑賞し、彼らと同時代に生きた幸せを感じると共に、日本人の心（喜怒哀楽）を学びたいと思うのです。

華道教室（内藤眞澄先生）

花は暮らしに必要というわけではないですが、部屋の中に飾ってあると自然に心を和ませて、気分も明るくしてくれることもあります。活け方は基礎基本を大切にしながら、時には、ちょっとしたアレンジを加えおしゃれに、季節の移ろいを種々の花で表現して、楽しい教室にしていきたいと思います。毎回花材が違うにもかかわらず、皆さんの熱心で努力している姿は素晴らしいもので、敬服しております。

歌声クラブ教室（本田晴子先生）

学校帰りのあぜ道で口ずさんだ歌。また、友達と遊んでいる時、何とはなしに歌う曲。ラジオから流れ聞こえてくる旋律。瞬時にあの時を思い出させてくれる歌の数々。そんな心ひかれる曲をピアノの伴奏にのせて思いっきり声を出していきましょう。きっとお気に入りのメロディが元気と希望を与えてくれるに違いありません。

水彩画教室（遠藤光胡先生）

水彩画教室は、今年19年目を迎えました。この間毎年3月の年の習作展を開催してきました。授業では、常に絵画の基礎に指導しています。全ての教科もどんなスポーツも基礎がベースと進歩は望めません。基礎が身につけば、自己の世界が広がり大きな自信になります。

恒例となった年末の習作展は、その成果を具現する大事な行事となっています。



には、そ
を重点的
スにない

被災者の声

その 1、岩手県で被災した越田チエ様

テレビや新聞で見る被災地は、一年も過ぎているのに復興の兆しは大きくは見えません。私達が見てもどうしてもっと国が動いてくれないのだろうと思っているのに、被災した方達の心はどんなにもどかしく、辛いだろうと思います。何か手助けする方法はないかと考え、辛く悔しい心を分かち合いたいと、被災した方におめにかかれるよう、学長さんに道を開いていただきました。

3月31日、「アクロスあらかわ」で2ヶ月に一度行っている、被災者交流会に出席させていただきました。藤田社会福祉協議会事務局長の挨拶の後、ボランティアの方のヴァイオリン・ギターの演奏・カラオケと、楽しい時間の途中、局長さんが選んでくださった被災者の方から、お話を聞くことが出来ました。

岩手県下関伊部山田町で被災された、84歳の越田チエ様が明るいお顔で話してくださいました。

3月11日、お買物から帰って食事の用意をしようと、ガスに火をつけた途端、物の落ちる音と一緒に、立ってられない程の揺れに「お父さん逃げよう」と普段用意してあったリュックを持って、妹が住んでいる高台に向かって歩きはじめました。道路は人・人・人・・・。

主人は足が痛いと言ち止まり「俺はもういいよ、お前だけ行け」と。越田さんは「どうしてお父さんを置いて行けるの」と・・・・。私は涙が出て両手で顔を覆ってしまいました。やっとの思いで妹の家に着いたのですが、妹の家は山火事にあってしまいました。また避難所を探して歩きました。どの避難所もいっぱい。やっと見つかった中学校は危ないと言う事なので、又歩いて、やっと山田高校で毛布を二枚もらいました。一枚掛けて寝ましたが、寒くて寒くて……。毛布をかいてしまいました。

私の家は海が近いので全部流されました。岩手に帰りたく建っていた所は、建ててはいけないうことになってしまいました。土地を買って家を建てるには、もう年を取り過ぎました。思って目を閉じると津波に追いかけて逃げた時の事が目何にも考えられないのです。

本当に辛い気持ちが伝わってきました。

シルバー大学で学べる私達は幸せだと思います。だから辛い思いで生きている方の事も忘れたくないと思います。



た。一枚ぶって泣いても家がた。高台眠ろうとに映って、

広報部 佐藤恒子

5 月 の 行 事 予 定

期 日	行 事	講師プロフィール
24 (木)	講義：社 会 「基礎自治体から基幹自治体へ」	区長 西川太一郎様
会場：サンパール荒川三階（小ホール）		時間：午後 2 時より 入場料：無料

◆◆◆◆◆ 学 園 日 誌 (4 月) ◆◆◆◆◆

4 日 役員会(学校案内他配付)	16 日 平成 24 年度開講・入学式
5 日 入学式打ち合わせ(サンパール)	在籍総数 921 名
12 日 24 年度規約・名簿印刷完成	内新入生 121 名
13 日 真土教室使用願提出	25 日 広報委員会
	30 日 シルバーだより 263 号作成

1. **講義及び講座開始の件**：日時・会場は学校案内書類・日程表または学校の掲示板をよく見て確認して下さい。又教室使用後の掃除、戸締りを確実にを行い、教室で出たゴミは責任を持って各自お持ち帰りください。
2. **教室使用手続き時間の件**：生涯学習センター窓口への【使用承認書】提出時間は、午前教室は 9 時 30 分より、午後教室は 12 時 20 分より提出お願いします。時間厳守でよろしくお願い致します。又終了後の鍵他の返納は速やかをお願いします。
3. **5 月の練習日変更について**：英語教室は 18 日と 25 日です。会場は第 3 会議室です。※6 月は 1 日と 15 日です。

※荒川シルバー大学【事務所】営業時間のご案内

(月～金曜日) 午前 9 時 30 分～午後 4 時 土日祝祭日は休み

事務所 TEL3801-5740 FAX3801-5691

<http://www.arakawa-silver.com/>



室長・田原



シルバーだより

No. 264

平成 24 年 6 月 1 日

荒川シルバー大学

荒川区荒川 3-49-1

岡田芳子

TEL 3801-5740

FAX 3801-5691

～ 一本のカーネーション ～

学 長 稲川君江

すき通る様な美しい新緑の季節もあっという間に通り過ぎ、早や初夏のたたずまいとなりました。先月の「母の日」の主演を果たしていたカーネーションにまつわる話をします。カーネーションは、今や一年中私達の日常生活の中で、華やかに飾りの役割を果たしてくれています。季節の花としては考えにくくなっているカーネーションですが、本来は「夏の花」なのです。

さて、私が低学年を担当していた 40 年も前の頃の事です。私はクラスの子ども達に、明日の日曜日は母の日です。日頃お世話になっているお母さんに“自分がしてあげられる事を考えておきましょう”と課題を出しておきました。



次の日、課題を出しておいた母の日に自分がした事を作文に書いてもらいました。クラスの中に元気いっぱいのやんちゃな K 君という男の子がいました。みんな一生懸命書いています。普段の K 君なら「母の日の事は忘れてしまったよ。書く事ないよ。」といっても不思議ではありません。でも K 君も熱心に書いています。

以下、「K 君の略文」

僕は毎日お小遣いを使ってしまうのであまりお金はありませんでしたが、近所の花屋のおばさんにおまけをしてもらい、赤いカーネーションを一本買いました。おばさんはきれいな紙に包んで、リボンもつけてくれました。僕は嬉しくなって走って家へ帰りました。「おかあさん」と呼びました。「はい、これ」と差し出しました。お母さんは、にこにこして、リボンをとって包み紙を開きました。中には何も入っていませんでした。花屋さんから家まで、全速力で走ってきたので、途中でカーネーションが落ちてしまいました。さがしに戻ると道端に僕のカーネーションが落ちていました。……以下省略。

ずいぶん昔の日の作文なのに、今でも鮮明によみがえってきます。それは K 君が日頃やさしくしてくれる母親への感謝や思いが、「ありがとう」という言葉がなくても母親へしっかりと伝えられています。母親の様子は書かれていないのに母親の表情や心が連想できて私の顔がほころんできます。

たった一本のカーネーションですが、大きな役割を果たしています。

被災者の声（その2）

No. 263 号（その1）！ 読んでいただけましたか？

今回は福島県富岡町の東電第一原発の事故のため避難してきた、小貫^{おぬき}和洋様のお話

小貫様は20 km圏内の警戒区域から避難して来られました。富岡町は、太平洋に面していて自宅からは10 km、警戒区域の中にある町だそうです。

地震が起きた時は避難の警報も鳴らなかったもので、町の人達は家の片付けをしていて、こんな大変な事になるとは誰も思わなかった。

避難警報が鳴ったのは3時半頃「避難してください」と通報されてもどの位危険なのかも知らされぬまま避難してきました。昭和45年東電福島第一原発1号機が運転しました。（6号機は53年に運転）富岡町は出稼ぎをして家計を立てていた人が多かったので、一旦事が起きた時の対応の仕方は、誰も分からぬまま、働く場所が出来たと、大勢の人が其の場所に携わりました。今は放射線の濃度で危険区域が区切られていますが、本当に大丈夫と云うのは、80 km先だと云っています。何十年たったら安全と云えるのか、自分の家には戻れそうにありません。一生懸命働いて建てた家も、帰った時は土足のまま入っています。と・・・どんなにか空しい気持ちだろうと思いました。今友達がドキュメンタリー映画を作っているので協力しています。機会がありましたら、シルバー大学の皆さんにも見て頂きたいとおっしゃっていました。是非見せてくださいとお願いいたしました。小貫様は子供さんが東京に居るので、帰る事は考えてないとおっしゃっていました。失礼しようと思って立ちあがったら、名刺を出して私の故郷の桜並木ですと見せて下さいました。そこには満開の桜並木が写っていました。見てくれる人はいないけれど、今年もきっと美しい桜を咲かせてくれているでしょう。望郷の思いが伝わり、切なく胸に迫りました。（広報部）

講師による教室紹介Ⅱ・・・投稿順

自分史教室（原田治子先生）

先を急ぐことはない。道草をしながらしあわせをたくさん味わって、人生の出口までゆっくり歩いていこうね。こんな雰囲気のある自分史教室です。在籍45名、開講20年目。90代～60代、考えただけでもこの時代の変化は激しい。だからこそ、教室を共にできた仲間の多岐にわたる自分史に出会い、感銘・感動・発見、そして人間愛がふくらむ。教室でのこの体験は、「これまで・現在・これから」さて私はどこを書こうかなーとなるのです。

写真教室（戸叶恒夫先生）

第一期生としての入学、おめでとうございます。今日、デジタルカメラの進歩は目ざましく、だれでもきれいな写真を撮ることが出来ます。生活学習としての本教室は、



- ① 皆さんの仲間づくりのお手伝いをする。
- ② 撮影場所を紹介し、皆で楽しく撮影する。
- ③ 撮影した写真をプリントにして学びあう。

の三点を目標にスタートします。まずは、美しいと感じたもの、「気になるもの」など、どんどんシャッターを押すことです。

フラダンス教室（佐々木時子先生）

今年で6年目を迎えました。最近フラ人口も増え幅広い年齢の方々に愛されています。ゆったりした中にしっかりとした運動量があり健康にも頭の体操にも大変良いとされています。今年も皆さんとハワイアン音楽に癒され、楽しく授業を進めていきたいと思っています。

英語教室（木村國子先生）

英語クラスには、様々な目的を持って生徒が集まって来ます。戦時中で英語が満足に学べなかった人、海外旅行が好きな人、身内が海外にいる人、学んだ英語をリフレッシュしたい人、英語の本を読んだり、英語の歌を歌ってみたい人等。これら総ての希望に応えたいと、年間計画を立てて授業を進めています。

クラスの自慢は、皆、生き生き、優しく助け合って、来るのが楽しくなるクラスです。

絵画と創作教室（藤島久子先生）

創作とは何をするか戸惑うというご意見を多数耳にしました。内容は、鉛筆、絵具、パステル等、自由に組み合わせ、一つの世界を創ります。よく言われる、下手だからという言葉は、この世界にはありません。すべて個性（その方の持ち味）の表現だからです。紙の他に、木、石、粘土作品等に、季節に合わせて家のどこかに置いて楽しく、なごめるものを創ります。

途中からでも結構です。軽い気持ちで、いつでも覗いて見て下さい。

頭の体操教室（水越絹代先生）

平成24年度も簡単な「読み・書き・計算」を中心にして、インド式の足し算や引き算などで凝り固まった頭に刺激を与えていきましょう。ひとりでは中々続かないことでも、教室に来てみんなでやっていると不思議なもので、楽しくて続いていくものなのですね。お互いに刺激を与え合いながら、前向きな気持ちで生きていけることを目指して今年もお勉強していきましょう。

音楽教室（飯島純子先生）

今迄何かテーマを決めて選曲し、一年間練習することが多くありました。例えば『植物』『川』に関連する歌や「日本の歌」など。今期はその様な“お題”にこだわらず過去に歌った財産の中から「あなたの心に」「さが野の尼寺」などをとり上げます。また、この所ずっと歌い続けている「サウンド・オブ・ミュージック」ですが、全曲挑戦しようと、残る曲の中から「ドレミの歌」と「おやすみなさい」に挑戦いたします。

書道・初級教室（八嶋セツ子先生）

小野道風（平安の三蹟）は、字が下手でしたが、蛙が懸命に柳に飛びつく姿を見て「なんども練習をしなくてはいけない」と悟ったそうです。今年の初級クラスの目標は、一ヶ月 200 枚以上書くことです。多く書くことによって上達を感じ、書くことが楽しくなるような教室にしていきたいです。また、当地は美術館や博物館が近いので、いいものを見、本物に触れて目を肥やし、意欲につなげていきたいと思います。

.....

6 月の予定

期 日	行 事 内 容	講 師
21 日（木）	合同講義：講師による講義 ＝ご期待ください！＝	池田（朗読）・石崎（絵本） 染山（茶道）・立川（料理） 上記、4 名の先生
会場：サンパール荒川 三階 小ホール 時間：午後 2 時より		

◆◆◆◆◆ 学 園 日 誌 （5 月） ◆◆◆◆◆

5 月 7 日	常任理事会・役員会 (開講式反省他)	24 日	第一回講義「基礎自治体から 基幹自治体へ」 講師 区長 西川太一郎様
11 日	予算委員会		
16 日	講義打合せサンパール	29 日	広報委員会
19 日	真土教室使用願提出	30 日	シルバー便り 264 号発行
24 日	23 年度 会計監査	31 日	区施設使用申請提出

※ 事務局だより ※

1. お願い：冷房使用の季節となります。各教室代表の方は教室終了後、冷房のスイッチを必ずご確認ください。（戸締り・忘れ物・ごみのチェックも！）
2. 6 月の変更教室について：英語教室は 15 日です。
3. 講師会について：6 月 7 日(木) 10 時より

会場は第一会議室です。



事務所 TEL3801-5740 FAX3801-5691 営業時間：月～金 9 時半から 16 時まで
(ホームページアドレス) <http://www.arakawa-silver.com/> 室長・田原



シルバーだより

No. 266

平成 24 年 8 月 1 日

荒川シルバー大学

荒川区荒川 3-49-1

岡田芳子

TEL 3801-5740

FAX 3801-5691

－ 8 月に思う 《命をつなぐ》 －

料理教室講師 立川禮子

子どもの頃、夏休みの 8 月はお盆という学校の勉強ではない行事が関心事でした。疎開した岡山は、お盆は 8 月だったのです。準備を手伝わせながら、祖母は両親や祖父母の話をしてくれて、見たことがない私の命の源へ少し溯り、自分の命の由来に思いを馳せました。宗教とのかかわり等の知識はありませんでしたが、今年改めて命をつなぐという事を考えました。



8 月は、命を断ち切った忘れてはならないことがありました。何千万もの尊い命が奪われた第二次大戦中、一瞬のうちに何十万人が炎となった広島、長崎への原爆投下は、命をつなぐ願いに反する最大の妨害です。死の恐怖に追われた戦争の日々。広島・長崎への原爆という特別大きな犠牲で戦争は終わりましたが、命をつなぐという最大のさまたげが戦争だという事は忘れてはならない事です。

原子力の平和利用という原発も、地球と人類の命を脅かすものと思えてなりません。シルバー世代になった私たちは、直接未来につながる命を生む齢ではないけれど、命をつなぐ願いを実現するために働くことは十分できます。若い人達より多くのつなぐに値する思いや願いを、シルバー大学の学生の方々はもっています。生きる事を楽しみ、学ぶ喜びを仲間と確かめ合うことを命をつなぐ働きとして、家族の中で、地域で、広げていきましょう。命をつなぐ事は、日頃大切にしている思いを、生きている限り発信していく事です。胸にしまっておくのではなく伝えていきましょう。子・孫のある人も、ない人も、ひたむきに生きた命を誰かにつないでいくことが大事なのだと考えるようになったのです。命をつなぐ先はたくさんあります。血がつながっていなくても、生活している地域や国や世界、地球と考えていくと命のつなぎ方は異なっても、方法はいろいろあると思うのです。シルバー大学で教え＝学びながら、ここに集っている学生さん達の思いを命として伝え残していきたいと思うのです。大切な命と共に伝えておくべき心をつないでいきましょう。シルバー大学の宝として。

素晴らしい！ 「シルバー大学講師による講義」

例年は外部から講師の方をお招きして、それぞれの専門分野について、お話を伺っていました。今年は我がシルバー大学の先生方に、講師をお願いすることになりました。（平成 24 年 6 月 21 日 サンパール荒川小ホール）

◆ 梁山宗江先生（茶道教室） “身近な陰と陽”

梅雨空のむし暑いこの日、涼やかにステキな和服姿で登場なさいました。中国の考え方に二元論があり、二つの対立する陰と陽がなければ成り立たない。それはあらゆるものに存在し、人間の体なら背中が陽でお腹が陰、数字なら奇数は陽で偶数は陰、柳は陽でおぼけは陰、相撲の土俵にもこの考え方が取り入れられている。二つは相反するようでいて、均衡を保ってバランスよく存在している。興味深く拝聴致しました。



◆ 立川禮子先生（料理教室） “料理を作って元気に生きる”

余分 3 兄弟（塩分・糖分・脂肪分）をとりすぎないように。アメリカ生まれのファーストフードは控えましょう。料理を作るとは頭を使うこと。手を使うこと。レインボーベジタブル（虹の 7 色）を食卓に乗せましょう。彩りも見映えも良く、しかも栄養満点。食事は先ず野菜から。特におすすめは魚は鮭・野菜はブロッコリー。ゆっくりよく噛んで。料理は作って元気に過ごしましょう。即、役立つお話でした。すぐ実践しましょう。

◆ 石崎恵子先生（絵本と伝承遊び教室） “童話に見る楽天性”

いきなり「へっこきよめさ」で始まり、会場はホンワカした空気に包まれました。母親と息子の家に嫁が来ました。気立てが良くて働き者。ある時からどうしたことでしょう。顔色が悪く苦しそうな嫁さん。二人は大層心配して理由を聞くと、おならを我慢しているという。我慢することはないと言うと一発、その音と勢いのスゴイこと。大風が吹きあれ家の中はとんでもないことになった。申し訳ないと家を出る嫁さん。おならが役に立つこともあり、家へ戻り、また仲良く暮らしました。「ヘンゼルとグレーテル」「11 匹の猫と豚」も取上げてお話して下さいました。童話に描かれる世界は、クヨクヨしない、大丈夫と励ます楽天性、生きる術を教えてくれる。バカな話も悲しい話も怖い話もと結んで下さいました。



◆ 池田洋子先生（朗読教室）

原田治子先生の「自分史の旅」沢村貞子作「猫年の女性」再び原田先生の詩

を聞かせて頂きました。文字を目で追っていく事では感じられない感動を覚えました。紙面に並んだ文字が先生の心の中を通過して、先生のお声で私達の耳に届く時、それは生きた言葉となって胸にひびきます。

4 人の先生方の持ち時間は短かったのですが、感動は大きなものでした。初めに岡田芳子先生が「講師の先生方はシルバー大学の誇りであり宝です」と挨拶されました。私達は素晴らしい先生方に教えて頂いていることを実感致しました。

広報部

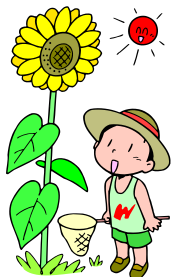
朗読教室 第二回 発表会のお知らせ

期日：9月27日(木) サンパール荒川 小ホール 3F

時間：13時30分開場 14時開演

「ひまわり」

三軒隣の家では、毎年窓の下のおずかな土にひまわりの苗を二本植える。今年はお顔と並べて植えてある。去年のひまわりは面白かった。背丈だけぐんぐん伸びて、二階に付きそう。私達は「このひまわり、花を付けるのを忘れてる」なんて話していたら、夏も終わりに近くなった頃大きな花を咲かせて、道行く人は上を見ながら、「やっぱり自分をわすれていなかったんだ」と話し合った。



植物はどんな環境にあっても、何と云われても急がずに忘れずに勤めを果たす。人もそうでありたいと思うけれど。

八月十五日《終戦記念日》、玉音放送を聞きに、村の方が何人も座敷に座っていた。私達兄弟も窓によりかかるように座って、玉音放送を待った。

「天皇陛下の声ってどんな声だろう」と弟が小さな声で云った。玉音放送が始まった。ラジオから聞こえてくる声は、大きくなったり、小さくなったり。

それでも、終ると父が「戦争は終わった」と云った。「兵隊に行った人も帰ってくるかね」と母が云った。「これからどんな時代が来るだろう」と村の人の声。ぼんやりと聞き流していた十七歳の私。夏の真っ盛り、暑さの中で草も木もぐったりとしていたのに、ひまわりだけは、花も背もピンと張って静かな姿で立っていた。

広報部部長 佐藤恒子

「古い支度」の夏休みに！！

社会科見学教室 講師 高橋建司

古い品々の整理の月にしませんか。貴方にとって不要な物でも、他の人で必要としている人がいます。使用可能な物はリサイクルへ出しませんか。

9月より「ゆずります・ゆずってください」コーナーを検討中。

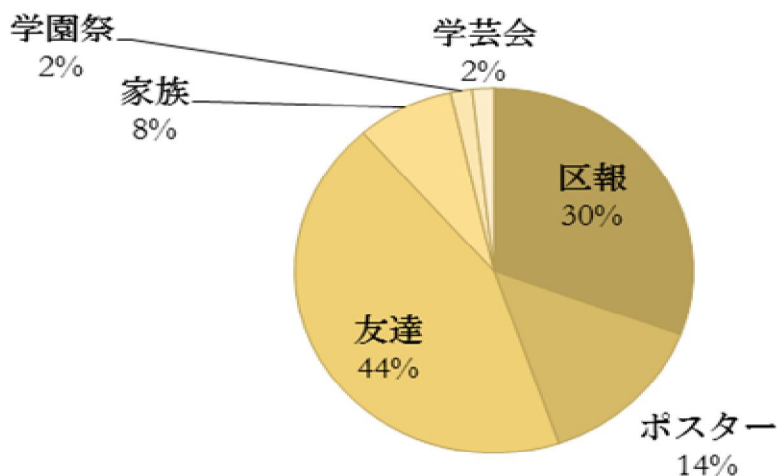
当教室では実施中です。詳細は9月号で。



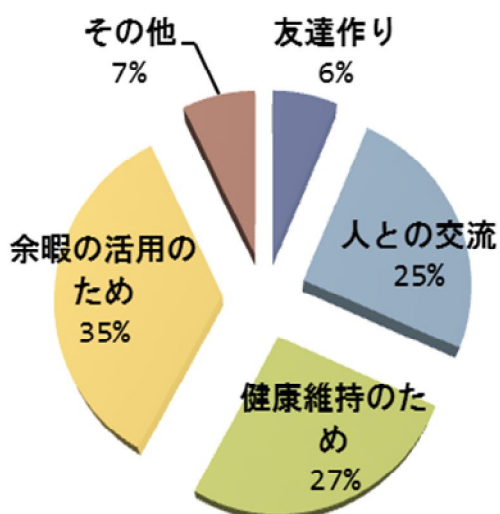
シルバー大学新入生アンケート

今年、シルバー大学に入学した新入生の皆さんの入学した動機や目的についてお聞きしてみました。入学した頃のことを思い出して、新入生の皆さんとのコミュニケーションづくりに役立たせてください。楽しく、一緒に学びましょう。

シルバー大学をどこで知りましたか



入学した目的





24 年度新入生の受講教室数と目的について

☆ 受講教室数

- ・ 1 教室受講・・・75名
- ・ 2 教室受講・・・20名
- ・ 3 教室受講・・・6名

☆ 入学目的

- ・ パソコンを使えるようになりたい(特に新入生が多かった教室)
- ・ 余暇の活用のため
- ・ 趣味として
- ・ ボケ防止、前頭葉を活性化 頭の活性化
- ・ 健康維持のため
- ・ 人との交流を楽しみたい
- ・ 好きだから、うまくなりたい
- ・ 学園祭で見学して
- ・ 友達の誘いで勉強したくなった
- ・ 出歩きたいから
- ・ 我流、マンネリからの脱却
- ・ 改めて習ってみたい
- ・ なんとなく楽しそう
- ・ 友達作り
- ・ 落ち着いた時間を作りたい
- ・ 前からやりたいと思っていた
- ・ 憧れ
- ・ 自分の生涯の記録を子孫に教えておくこと
- ・ 基本を勉強したかった。
- ・ 心豊かに過ごすため
- ・ 皆さんに勧められたから
- ・ 学校で真面目に勉強しなかったなので、基礎から学びなおしたかった

♡・・盆踊り練習のお知らせ・・♡

荒川区の盆踊り大会に向けて練習を致しますのでご参加ください。

期 日：8月30日(木) 時間：午後 12：20～2：20

会 場：多目的室（生涯学習センター内、4階）

講 師：新英美紗信先生（輪踊り民舞教室・講師）

持ち物：汗拭きタオル・上履き・水分補給の飲物



『荒川区主催：大太鼓盆踊り大会』

期日：9月1日(土) 午後6時～9時 会場：南千住野球場

雨天の場合、翌2日(日)に順延

◆◆◆ 学 園 日 誌 (7月) ◆◆◆

- | | | | |
|-----|-----------------|-----|----------------|
| 3日 | 7月度役員会(学園祭・旅行他) | 25日 | 学園祭打合せ(第一回) |
| | 常任理事会 | 26日 | シルバーだより 266号作成 |
| 11日 | プロジェクター使用説明会実施 | 31日 | 8月度役員会・講師会 |
| 20日 | 真土教室使用願提出 | | 常任理事会(学園祭他) |
| 24日 | 広報部企画会議 | | |

※ 事務局だより ※



1. 学園祭について：11月9日～11日(金土日)の3日間

会場は、ムーブ町屋3階及び4階ギャラリー

9月以降、各教室は展示作品や発表の準備等宜しく
お願い致します。

2. ◆朗読教室変更について：(9月27日の発表会に向けて追加の講座が入ります。)

- 追 加
- (午前教室) 8月2日・16日(木) 10：00～・・・第5会議室・
 - (午後教室) 8月2日(木) 13：00～・・・第4会議室
 - 8月16日(木) 13：00～・・・第5会議室
 - (午前/午後共) 9月6日(木) 10：00～12：00・・・第1会議室

◆硬筆教室変更について：8月は20日(月)・29日(水)となります。(9/24は取消)

◎8月は事務所も夏休みです。御用の方は下記の期日にどうぞ！

20日～21日(月・火)、30日～31日(木・金)：9時30分～16時

(事務所) TEL 03-3801-5740 FAX 03-3801-5691

(メールアドレス) arakawa-silver@dream.jp

(ホームページアドレス) arakawa-silver.com/

室長・田原



シルバーだより

No. 267

平成 24 年 9 月 1 日

荒川シルバー大学

荒川区荒川 3-49-1

岡田芳子

TEL 3801-5740

FAX 3801-5691

～ オリンピックの興奮 ～

硬筆・書道教室 講師 松原 淑子

ロンドンオリンピック大会が終わりました。世界中が湧いた日々でした。選手も家族も関係者も、そして各国の国民も手に汗を握って見守りました。勝っても負けても興奮しました。声を張り上げ、体をのり出し、手を振り旗を振り、全身で応援をして競技者と一体となりました。

オリンピア競技は、ギリシャのオリンピアの神殿に祭ってあるゼウスの神に捧げる祭りでした。紀元前 776 年から紀元後 393 年まで続きました。ギリシャの各地から選手が集まり、はだか、はだしで走ったり、投げたり、跳んだりしました。競技種目は、競争、円盤投げ、走り巾跳び、槍投げ、レスリング、ボクシングなどが主でした。優勝者には、月桂樹の枝で作った冠とオリーブの枝が商品として与えられました。また、選手の像を彫刻して近くの森の中に建てました。ギリシャ彫刻のすぐれた芸術の生まれた機会でもあったのでした。

オリンピア競技は、4 年に 1 度ずつ開かれて 1170 年も続きました。ローマの時代に入り、第 293 回目を開いた翌年、古代オリンピア競技の幕は閉じられ、それから 1300 年後オリンピアの遺跡が発掘され、世界の人々は古代ギリシャのすばらしい文化に驚きあこがれました。

フランスの教育者ピエール・ド・クーベルタン男爵は、スポーツによって若い人達を健康な心身の持ち主にし、スポーツを通じて、世界の平和を実現したいという強い希望から、今の世界でもう一度オリンピア競技を開こうと計画し、1894 年 6 月 23 日各国の代表の満場一致でオリンピア競技の復活を決定しました。近代オリンピック大会は、1895 年 4 月ギリシャのアテネで開かれ 13 カ国 285 名が参加しました。こうしてオリンピックの歴史を振り返りますと、その意義の大きさに敬服します。クーベルタンが『オリンピック大会に於いて重要なことは勝つことではなく、参加することです。人生に於いても重要なことは成功することではなく、努力することです。』と言われた言葉が私達を引き締めます。まさにシルバー大学に参加し、努力している私達は、人生オリンピックの実践者であると自負していいのではないのでしょうか。

◆ 昭和の記録 ◆

3月10日空襲

私が9歳の時、父母と七人兄弟で浅草に住んでいた。毎日が空襲の日々。

3月9日の夜、空襲警報のサイレンで外に飛び出た。空は赤く昼間の様で空から落ちて来る焼夷弾の一束が途中で散らばり、家の軒先から燃え上がる。

母は弟二人と私をつれて上野の山に逃げようと向かったが、途中止められ先に行けず、三ヶ所の疎開地の真中に逃げた。(今の入谷南公園)

リヤカーに荷物を載せ逃げて来る人に「リヤカーを捨てなさい！」母は大声を出す。タイヤに火が燃え移り、リヤカーを投げ出し逃げる様子は一台や二台ではなかった。間を開けず焼夷弾が花火の様に落ちて来る。

母は、三人の子供に大きな風呂敷を被せては火の粉を払うのを何度も繰り返した。明るくなり、家族を心配する人の声。廻りを見ると防空壕の中からは蒸焼きの様です。国際劇場の骨組みと上野駅まで一望の焼野原になり、水道管は破損して水が流れ出た。金竜国民学校集合場所に来た時、家族皆の顔を見て安心した。母の機転には今も感謝しています。

14 班 佐藤公子

恐ろしかった焼夷弾

昭和20年3月19日から20日にかけて空襲がありました。私は町屋一本松に住んでいました。夜中です。B29の空襲です。父は東京電力に勤めていて泊まりの日でいません。姉と私十二歳です。空が真っ赤です。

焼夷弾が雨のように降って動けません。「君達、逃げないと死ぬよ。」どう歩いたかわかりません。髪の毛はぢりぢり、荷物もいつのまにか落ちてありません。気がついたら荒川土手にいました。手に持っていたのは母の位牌です。母が姉と私を助けてくれたの。荒川土手で朝を迎えました。

歩いて家の前までいくと、父がいました。「生きていたんだね。おまえが死んだら母さんにすまない」と泣いたのをおぼえています。次の日、母の田舎、岩手県に行きました。それからが大変でした。今は平和で幸せです。

46 班 石山つめよ

※ 上記はご本人のご了解を得て掲載させていただきました。「昭和の記録」は引き続き募集中です。事務所へお届けいただきたいと思います。

焼野原の東京





梅田俊作/佳子 作・絵
(岩崎書店)

本の紹介

♡ばあちゃんの夏休み♡

絵本と伝承遊び教室 講師 石崎恵子

「おう、おう、ようきた、ようきた。まったたぞ！」
「うんとかさ、あそぼうなあ！」これが最後のページのセリフです。

娘と孫たちがやってくる日、ばあちゃんもじいちゃんも朝早くからそわそわしています。その二人の会話はまるで漫才のよう。孫を待ちわびる思いが満ち溢れ、思わず読み手の顔がほころびます。

待っているながいなが〜い間に、ばあちゃんは楽しく遊んだ子どもの頃を思い出します。村はずれの沼での釣り、亀まで釣れたっけ。虫取りに興じた木登り。涼しい丘の上。もぐりっこ、甲羅干し、サワガニ捕り、仲良しのトメちゃんとたらい乗りしたあの川に、孫たちをつれて行ってやろうと、あれこれ思いを巡らせるばあちゃん。……………

このばあちゃんの子供時代はなんと豊かだったのでしょ。こんな遊び環境を失いたくないですね。よ〜く思い出せば私たちにだってまだまだ豊かな思い出が残っています。ゲームより楽しい世界があるぞ！と、子供たちに伝えていかなくては……………。躍動感のある絵がまたすばらしい絵本です。

……………

◎花えにし(花縁)・・・花との出会いも何かの縁ではないでしょうか

“ ひ ま わ り ”

ソフィア・ローレン



画面いっぱいのひまわり畑とあの名曲で始まるイタリア映画「ひまわり」、主演はソフィア・ローレンとマルチェロ・マストロヤンニ。二人は愛し合い結婚します。夫はロシア戦線へ。戦争が終ったが夫は戻って来ない。妻はロシアへ捜しに行きます。夫は酷寒の中で凍死寸前に若い女性に助けられ、記憶を失い命の恩人の女性と結婚、可愛い娘もいました。駅で夫を見ますが、言葉を交わすこともなく妻は帰国します。

数年が過ぎ、夫は妻に会いに来ますが、妻にも家庭が出来ました。「戦争は残酷だ。何もかも変えてしまう」との言葉を残しロシアへ帰って行きます。



駅が別れの場所として象徴的に描かれています。最後は太陽の下に咲くひまわりと切ないメロディ。戦争の哀しみ、悲慘さ、何度見ても私は心がふるえます。

自分史教室 井口和子

◎俳句教室再開のお知らせ

平成 24 年度休講いたしました俳句教室を、25 年度に再開いたします。
講師は、田中克子氏にお願いいたしました。先生の 40 数年間にわたり詠まれた句をのせて、先生のご紹介に代えさせていただきます。

たぐじょう 草上に春の野花を籠にして
てんうい むか 天界に向かいて上る蟬時雨
たてづも たき 竝琴の滝に落ち葉の降りそそぎ



9 月 の 行 事 予 定

期 日	行 事	プログラム
27 (木)	朗読教室 第二回 発表会 入場料：無料	今を生きて ～あなたへのメッセージ～
会場：サンパール荒川三階 小ホール 時間：午後 2 時		

◆◆◆◆◆ 学 園 日 誌 ◆◆◆◆◆

8 月	1 日	常任理事会	20 日	真土教室使用願提出
	〃	役員会・講師会(学園祭)	22 日	広報部・企画会議
	3 日	ムーブ町屋・学園祭打合せ	27 日	広報部・編集会議
	9 日	広報部・編集会議	26～28 日	研修旅行・福島の旅
	10 日	学園祭共催依頼書提出	27 日	シルバーだより 267 号作成
	2・16・30	朗読教室・発表会練習	30 日	新英講師・盆踊り練習

※ 事務局だより ※

① 9 月の変更教室について ※ () 内は受講会議室

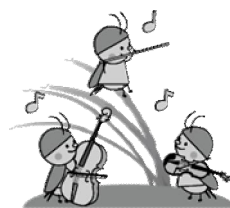
- ◆ 朗読・午前教室：6 日 (第 1)、13 日 (第 3)、20 日 (第 1)
- 朗読・午後教室：13 日 (第 3)、20 日 (第 1)
- ◆ 硬筆教室：9 月の講義はありません。
- 24 日の講義は取消です。(8/29 に変更済)

(メールアドレス) arakawa-silver@dream.jp

(ホームページアドレス) arakawa-silver.com/

(事務所) T E L 03-3801-5740 F A X 03-3801-5691

室長・田原





シルバーだより

No. 269

平成 24 年 11 月 1 日

荒川シルバー大学

荒川区荒川 3-49-1

岡田芳子

TEL 3801-5740

FAX 3801-5691

～実りある学園祭を～

講師会長・絵本と伝承遊び教室講師 石崎恵子

「先生、ゆうべ、これ読み終わりました。」と、Sさんがかかえてきた本は、あの有名な、フランスのサン・テグジュペリ作『星の王子さま』でした。長編とまではいきませんが、かなり長く読みでのある作品です。しかも重いこの本(0.5kg)をリュックに入れて持ってきてくれたのです。

ちょうど四年前の今頃のことです。詳しく聞いてみますと、こういうことでした。



当時、理事長だった秋山照子先生が学園祭の開会式でご挨拶されたとき『星の王子さま』から引用して「友だち」についてお話されました。(シルバー大学の在校生は、学び合うということによって、単なる隣人とは違う「本当の友になり得る」のだということ。そして、みんなの丹精こめた作品に感動し関心を寄せたとき、仲間の絆がもっと深まるとお話されたのだと思います。) その秋山先生のお話を受けて、来賓の区長さんもこの本にふれて話されたのです。

その後、『星の王子さま』ってどんな作品なのだろうと、Sさんはすぐさま本屋に行き、店頭にはなかったので注文して取り寄せたのだそうです。

「ぜひ読んでみてください。」と呼びかけられたわけでもありませんし、教室で課題になったわけでもないのです。Sさんは、心にとまったことをそのまま素通りさせないで、もっと知りたい、もっと極めてみようと思われたのです。その好奇心、向上心に裏付けられた情熱のなんと豊かで若々しいことでしょう。

彼女は大正生まれ。今年卒寿(90 才)を迎えました。今尚心の若さは溢れています。

「砂漠が美しいのは、どこかに井戸を隠しているからなんだ。」と星の王子さま。「その美しいところは、目には見えないのさ。」「心でさがさないとね。」「・・・」

9 日(金)より 3 日間、いよいよ学園祭です。例年すばらしい作品が並びます。技と心を尽くして仕上げた作品には、一つ一つ物語りがあるのです。見える美しさと共に目には見えない美しさを感じながら、豊かで実りある学園祭となりますように。

《朗読教室発表会》を終えて

9月27日の朗読教室発表会には、多勢の皆様にご足を運んでいただきましてありがとうございました。おかげ様で無事発表会を終える事ができました。思えば8月の厳しい暑さのなか、池田洋子先生のご指導のもと教室一同頑張って練習を重ねて発表会を迎える事ができました。

一番心配だったのは、朝の天気予報で「夕方から雨になります。」という言葉でした。もし雨だったら会場は空席が多いかもしれない・・・。

でもそんな心配をよそに、会場には多くの皆様が朗読を聴きに來てくださったのです。途中、椅子を追加しましたが、立ったまま聴いて下さった方もいたようでした。行き届かないところが多く、本当に申し訳なく思っています。

マカロンズの皆さんの演奏に助けていただいた事や、後半の映像を写しながらの朗読も好評のようでした。又お帰りの時には、皆様からの心あたたまるやさしい言葉や、おほめの言葉をたくさんいただきましてありがとうございました。生涯忘れることができない貴重な体験をさせていただきました。これからも池田先生のご指導にこたえられるように、又聴いて下さる方に言葉をとどけられるように、いろいろな作品に出合い、少しずつ成長しながら教室の絆も深めて行く事が出来たらうれしいと思います。

★ 誇らしく 朗読終えし 仲間等の 顔輝きて 美しく有り

★ 師の朗読(うた)に 賞賛惜しまぬ 友有りき 我が鼻少し 高くなりける

午前教室 代表 辻原貞子

午後教室 代表 榎本節子



朗読教室の発表会を拝聴して

それは、『マカロンズ』の演奏から始まった。時に静かに、時に力強く・・・。
小川の春は三輪唱形式で余韻を残して終わりました。

幼子が両親と遠く離れた学童疎開先から両親に宛てた手紙。向田邦子作の不器用な父親が娘に宛てた『父の詫び状』。遥かに大きな娘を想う母に娘からの『娘の詫び状』等、情愛あふれる想いを時にさらりとそして切々と。そして夫から妻に、妻から夫への手紙を通して語りかける夫婦の愛と絆。

素晴らしい作品を選択されて落ち着いて静かに語る朗読教室の皆さんの姿がとても印象的でした。こうして静かに拝聴する機会を得られ、束の間に過ぎた一時間半でした。改めて身の回りの人々のすべてに感謝あるのみです。

28班 斉藤ソノ子

教室紹介

写真教室

講師 戸叶恒夫

初心者対象の講座でしたが、写真経験の差は予想以上のものでした。けれども、「写真を撮りたい」という気持ちと意欲は、だれもが強く持っています。毎月の学習は、撮影会と教室での学習を一回ずつ実施しています。

撮った写真にダメな写真はありません。デジタルカメラの進歩により、初心者でも思わぬ作品が撮れるのです。予想外のことがもう一つありました。今まで無かったプロジェクターが使えるようになったことです。

関係の方々の熱意と学校の素早い対応に感謝の気持ちでいっぱいです。デジタルカメラの学習には、プロジェクターは必須の機材です。撮影した写真をすぐに見ることができます。仲間の作品を教室で皆で見て学習することができます。10月の教室は文化祭で展示する作品を選んだり、タイトルを決めたりと準備で集中しています。それぞれのがんばりをご覧いただければ幸いです。これからも自分のペースで季節の変化や風物、日常の出来事に感動しシャッターを押してほしいと願っています。一人ひとりの **Next One** をめざして・・・。

教室紹介

歌声クラブ教室

◆「みんなで歌う会」実施のお知らせ◆

高橋 建司

□日時 11月30日(金) 午後1:00～3:00

□場所 生涯学習センター 4階 音楽室

□募集人員 一般学生 60名 (応募者多数の場合は抽選、11/21 事務所前掲示)
他に 20名 (下記※1 欄に記載の方)

☆参加申込期間 11月12日(月)～16日(金) 12時まで。

事務所前「応募箱」に投函のこと。【班・氏名・電話番号】をご記入ください。

歌声クラブ教室 11月の教室見学月に合わせて、当教室は下記日程で一般学生を対象に「みんなで歌う会」を実施することになりました。昭和30年代の「歌声喫茶」を復活させるような、童謡・唱歌・ロシア民謡・懐かしのメロディなど、直ぐに皆さんが口ずさむ事の出来る歌を用意して、本田先生のピアノで思いつき歌う予定です

※ 1. 24年度募集時、50名定員のところ90名の応募あり。抽選に漏れた40名の内20名は25年度優先して受講可能。上記「みんなで歌う会」にも優先参加可能。(12日～事務所前に名前展示)

※ 2. 最後に残った20名の方は、26年度に優先して受講できます。

♡♡♡ 公開教室のお知らせ ♡♡♡

11 月に限り、各教室の授業をどなたでも見学できます。来年度の申し込みの参考にしてください。但し、日程・会場に変更のある場合がありますので、事前に事務局にお問い合わせの上ご見学ください。 電話 3801-5740

11 月の行事 (学園祭)

期 日	9 日～11 日 (金・土・日) ムーブ町屋 3・4 階
お 茶 席 (茶道教室)	9 日(金) 午後 1 時 30 分～4 時 (受付: 4 時まで) 10 日(土) 午前 10 時～午後 4 時 (受付: 3 時 30 分まで)
チャリティ (陶芸教室)	11 日(日) 午前 11 時～午後 2 時 30 分 売上金は社会福祉協議会に寄付し、皆様のお役にたてていただきます。

◆◆◆◆ 学 園 日 誌 (10 月) ◆◆◆◆

- | | | | |
|------|--------------------------|------|-----------------------------|
| 4 日 | 常任理事会・役員会
(学園祭、反省会、他) | 22 日 | 区・警察署等へ学園祭のご案内
真土教室使用願提出 |
| 17 日 | 都電ポスター貼り(広報部) | 26 日 | シルバーだより 269 号作成 |
| 18 日 | 学園祭打合せ(ムーブ) | | |

※ 事務局だより ※

1. 荒川区功労者表彰について：推薦団体として本年度ご推薦致しました落合静子さん・豊田マス子さんは「荒川区功労者」として 10 月 29 日に表彰式が行われました。また元レク・ダンス教室講師小島敬子先生は荒川区より活動賞を受賞なさいました。おめでとうございます。
2. 11 月の教室練習日変更のお知らせ
朗読教室：1 日 (大会議室) と 15 日(第 1 会議室)です。 午前・午後共
(11 月 29 日は取消しです)
3. 絵手紙教室 10 周年記念作品展について …………… ご案内!
日時：11 月 23 日～28 日(金～水) 時間：10 時～17 時
会場：町屋文化センター (皆さんのおいでをお待ちしてます)



(事務局) T E L 03-3801-5740 F A X 03-3801-5691

ホームページ <http://www.arakawa-silver.com/>

室長・田原



シルバーだより

No. 270

平成24年12月1日

荒川シルバー大学

荒川区荒川3-49-1

岡田芳子

TEL 3801-5740

FAX 3801-5691

♡天空でごゆっくり♡・・・秋山理事長を偲んで

名誉学長 原田治子

車窓が額縁となって、外の風景がいくつもの名画のように移っていく。太陽が茜雲の中に溶けていくと、折り重なる山々の稜線が薄紫に染まりはじまる。こんもりとした小さな森、実りはじめた田圃に案山子がポツリポツリ、農家の軒先から洩れる灯、家路を急ぐ農夫。どれもが次第に暮れていく。

四人掛けのボックスには秋山さんの他に誰が坐っていたのだろうか、半世紀余りも経っているのだから思い出せない。岐阜で開催される民間教育団体の研究集会参加のため、四人は東京駅で待ち合わせ、すさまじい勢いで席を確保したことは覚えている。1958年（昭33）8月、学校は夏休み。秋山さんも私も連日の苦闘にかなり疲れていた。勤務評定、指導要領道德編の告示、指導要領の法的拘束など、次々と提示される文部省からの法令・通達に対する反対闘争はすさまじかった。私たち二人はその渦中にいたのだ。連日連夜の会合と抗議活動は延々と続いた。



水墨画のような風景に癒されたのか、小声でつぶやくように話しはじめた秋山さん。「原田さん、学校教育がこのままの状態が続いたら日本の国は滅びるわね。」

「同感。教師の目はますます子供にむけられなくなる。管理職や上司にばかり気遣ってね。勤務評定なんてとんでもない。」「うちの校長はどんな視点で職員を評価・評定するんだろう。」秋山さんの問いかけに、常日ごろから校長として全く認めていないあの姿を私は思い浮かべた。

校長室にこもりっぱなし。職員や子供と触れ合うことはほとんどなし。児童朝会や式辞の講和にテーマがない。何があっても指導助言らしきものはない。ただいるだけ。こんな人に勤務評定の権限を持たせるのは罪悪だ。

「秋山さん、私は勤務評定制度に絶対反対。でもこうなったら“この人に評定されるのなら”という優れた人に出会いたい。」

「そうよね。品格・指導力・包容力・情熱・人間的魅力のある校長になら勤務評定されてもいいとしなければ。」

「秋山さん、私ね、あの校長にペケの評定されても、それは私の勲章よ。」

この場面は、秋山さんを偲ぶほんのひとコマです。私が新米教師として第三日暮里小学校に着任したのが 21 歳。すでに在職していた秋山さんは 26 歳だったかな……。黒目がちでほっそりとした美しい人でした。あれからおよそ 60 年の付き合いです。二人はやがて勤務評定をする立場になり、しかも、二人ともに教職のスタートもゴールも第三日暮里小学校だったのです。20 代のあの日、車中で熱く熱く語り合った「校長像」。さて私たち二人はどんな校長だったのでしょうか。

○ 荒川区立第二瑞光小校長（S51 年 4 月～55 年 3 月）

○ 荒川区第三日暮里小校長（S55 年 4 月～61 年 3 月）新校舎建設に尽力。夕やけ小やけの歌碑建立。作詞の中村雨紅は野口雨情の弟子。中村雨紅氏は三日小の教師だった。

○ 校長退職後

- ・ 荒川区教育委員（2 期 8 年） ・ 荒川シルバー大学学長（H7 年 3 月まで）この間、シルバー便り発案発行。今日に続く。

- ・ 荒川シルバー大学理事長（H17 年 4 月～24 年 2 月まで）この間生涯学習センター内に事務所を確保。在学中の H24 年 2 月 23 日死去。

○ 褒章「瑞寶雙光章」 受賞（H24 年 8 月 30 日）

○ 新日本文学会会員（ペンネーム 関柊子）退職後も短編小説を執筆していた。秋山さん人生後半の略歴をたどっているうちに、我が家の新築時に戴いた「照子書」の掛軸が心に染みてきました。

雨ふれば雨を楽しみ晴るる日は晴を楽しむ楽しみあるところに楽しみ 楽しみなきところにも楽しむ 吉川英治のことば
--

勝ち負けを嫌い、弱者に優しい。そして、穏やかな暮らしを求め続けた秋山さんの心情が伝わってくる文字です。

見かけによらず秋山さんは多才でした。自動車の運転・書道・木彫・陶芸・洋裁・料理・小説は世に出ることはなかったけれど、関柊子のペンネームで、本格的に取り組んでいました。秋山さんと 60 年にわたるおつき合いの途中で時々感じていたこと。それは「ある時いたずら小僧が現れて、秋山先生の人生の道しるべの方向を、ちょっとばかり変えたんじゃないかしら」と。私に贈ってくれた吉川英治の言葉は秋山さんにぴったりです。天空で、楽しみあるところ、なきところにも楽しみ、四季折々の変化を味わいながら、ゆっくりと小説を書いてください。下界からみつめています。

入院する数日前まで、杖をついてシルバー大学の事務所に通い続けてくれた秋山さん。「私が育てた学校」という思い、深い愛情をもって、最後まで理事長の役割を果たしてくれました。“当たり前なことが当たり前でなくなった時、失ったものの大切さを知る。” 秋山さん ありがとう。

平成24年度学園祭を振り返って

11月9日～11日の3日間、お天気にも恵まれ、(最終日の閉会式後多少の雨に見舞われ、帰宅される際の心配はありました)が、無事に事故無く開催出来た事は、生徒さん方の熱意と、そして役員さん方の持ち場での責任ある作業のお蔭であると、心より感謝しております。今年は例年以上の(来場者1324名)多くの方に来て戴けましたし、すごく良い展示だったとお褒めの言葉も多くの方から戴きました。但しこれ等の事に奢ることなく一工夫も、二工夫も重ね、来年25年度はもっと良い、今年を越える学園祭にしたいと思いますので宜しくお願い致します。各教科の先生、役員の皆様、展示にご努力戴いた生徒の皆さんの協力に感謝いたします。有難うございました。

実行委員長 宮澤健一

◎来場者の内訳

日 付	一 般	受講生	来 賓	合 計
11月9日～11日	373名	940名	11名	1324名

「絵本と伝承遊び」教室公開のおしらせ

講師 石崎恵子

2学期最後の、お正月向けの教室を公開いたします。

見学だけの方、折り紙をいっしょに体験される方、どうぞいらしてください。

準備の都合上折り紙希望の方は、

教室代表の小北(3809-1876)までお申し込みください(10名程度)。

と き 12月12日(水)午後1時～3時

場 所 センター3F 第3会議室

内 容 ①伝承折り紙「祝い鶴」「つるのお年玉袋」

②昔話絵本「あとかくしの雪」読み語り



「絵画と創作教室」(金曜・午後)から名称変更のお知らせ

講師 藤島久子

25年度は教室名「絵画と創作教室」から「パステル・絵の具画教室」に名称が変わります。

パステル画とは自由に描きたいものが描ける楽しく巾広い画材です。こすったり、線を入れたり、他の画材と組み合わせたり、子どもの頃クレパスで絵を描

いたように手軽に自分の気持ちを画用紙に表すことができます。

大人の図工教室にぜひご参加ください。

25 年度・新教室紹介 「おしゃれニットクラブ教室」 木曜・午後

講師 桜井企佐子（きさこ）

一本の糸から色々な物を一緒に作りましょう！ 「手編みは温かいけど、どうもサイズがピッタリ合わない！ 型が古くて色合いも今一歩！ 途中で嫌になってしまう！」 この様な言葉を耳にします。

この教室では手作りの良さと作る方の作品を、より個性ある愛する一品にする事を目的としていますから、完成品は必ず出来ます。季節感溢れる小物も作っていきます。例えば、《マフラー・手袋・ブローチ・バック・人形・リース等々》糸が織り成す世界は無限の楽しさでいっぱいです。“素敵なおセーターね”とお友達に賞賛してもらえる事を楽しみに、楽しんでいきましょう。



◆◆◆◆◆ 11 月の学 園 日 誌 ◆◆◆◆◆

6 日	常任理事会・役員会 (学園祭他)	21 日	真土教室使用願提出
9～11 日	24 年度学園祭 (ムーブ町屋にて)	23 日	絵手紙教室 10 周年記念作品展 (町屋文化センター・28 日まで)
16 日	学園祭・反省会	26 日	25 年度年間講義日程申請(センターへ)
		26 日	シルバーだより第 270 号完成

1. 12 月の変更教室について：自然と小さな旅教室「19 日の会場は大会議室」

2. 25 年度教室について：

①新教室：おしゃれニット教室 ②再開教室：俳句教室 ③名称変更教室：
書道(初級)教室→書道(金曜)教室、絵画と創作教室→パステル絵の具画教室

3. 25 年度学園祭期日：平成 25 年 10 月 25 日(金)・26 日(土)・27 日(日)です。

後記) 講師そして教室代表の方を中心に、和やかでしかも熱気あふれる 24 年度の学園祭が幕を閉じました。教室代表の方々は月々役員会に出席し、各教室の皆様には主旨報告するという大任を担っています。伝統の地区役員そして新風の教室代表役員、共に迎える「創立 30 周年」を目前に気運が高まり、当校は磐石に頼もしく変貌を遂げます。

事務所 TEL3801-5740 FAX3801-5691

(ホームページ) <http://www.arakawa-silver.com/>

室長・田原